

ATC施設利用・共同開発研究申請書(□新規 ■継続 □変更)

国立天文台先端技術センター センター長 殿

平成 29年 2月 27日

下記のとおり施設利用を申請します。

①代表者氏名：花岡 庸一郎		④ 連絡先：(E-mail)	
② 所属機関 / 部局 国立天文台太陽観測所		(電話)	
③ 職名 又は 学年 准教授		(FAX)	
⑤ 研究課題名：太陽光学赤外観測における撮像・実時間処理システムの開発			
⑥ 研究課題および施設利用の目的		URL (省略可):http://	
太陽の光学赤外観測において、観測データ取得とそれを実時間処理するシステムをベースとした先端的装置開発を進める。今年度は、科研費新学術研究「太陽地球環境予測」(平成27～31年度)の分担研究として行う次世代赤外偏光観測装置開発の一環としてのカメラ製作・検出器評価を開始するとともに、偏光観測装置改良等を引き続き行う。			
⑦ 希望利用期間：H29年 4月 1日 ～ H30年 3月31日 (継続使用の場合は、一年毎の更新が必要です。)			
⑧ 利用者およびその連絡先(電話番号、E-Mail) 花岡 庸一郎, 勝川行雄, 篠田一也, 森田諭			
先端技術センターの関連職員の氏名を記入。(該当者がいない場合は記入不要)鎌田有紀子			
利用設備の申請 : 使用する項目にチェック(☑ or ■)を入れてください。			
■ メカニカルエンジニアリングショップ 業務依頼の内容を具体的に裏面に記入してください。	■ 設計	■ 実験スペース	_4_ × _4_ m ²
	■ 工作依頼	□ 電源の使用	100V, _ _ A, _ □
	□ 測定・評価		200V, _ _ A, _ □
	□ 超精密	□ クレーンの利用	この欄に利用クレーンの規模を記入して下さい。
■ オプティカルショップ	測定器の予約はWebを利用して下さい。	□ 特定化学物質	この欄に物質名を記入して下さい。
□ スペースチャンバーショップ 裏面に作業内容を記入してください。	□ 大型スペースチャンバ □ 中型真空チャンバ □ 小型真空チャンバ □ その他 ()	□ 有機溶剤	この欄に使用する溶剤の種類を記入してください。持ち込む場合は、別途届出用紙に記入して提出してください。
		□ 高圧ガス	別途届出用紙に記入して提出。
□ 特殊蒸着・超微細加工ユニット 裏面に依頼内容を記載してください。	□ 特殊蒸着	□ 液体窒素: xx ℓ/月	□ 乾燥窒素
	□ 微細加工	□ 液体ヘリウム: xx ℓ/月	ここに推定月使用料を記入して下さい。
□ クリーンルーム (CR) 裏面に作業内容を記入して下さい。	□ 大型CR(クラス1,000) □ 中型CR(クラス10,000) □ 小型CR(クラス10,000)	□ 真空ポンプ 設備管理ユニットに予め相談必 ■ エレクトロニクス測定機器利用	□ 冷却水の利用
			□ サブミリ波FTS
□ その他 ()			
安全衛生講習 : 希望する / 希望しない		保険加入の有無(学生のみ): 有 ・ 無	

申請事項に変更が生じた場合は、速やかに変更申請書を作成し提出願います。

送付先(先端技術センター事務): atc-office@atc.mtk.nao.ac.jp

⑨ 利用計画 : 先端技術センターの設備・実験室等の利用計画(日程含む)を具体的に記入してください。また、工作依頼品の概要・利用する測定器・ソフト等についても記入してください。必要に応じて添付資料を提出してください。

(注意事項) : とくに大物を搬入、設置する場合や工事が必要になる可能性がある場合は、必ず記入して下さい。とくに大型実験機器の設置については、付属機器も含めた大体の配置図等を添付して提出してください。

2017年度は、太陽光学赤外観測における撮像・実時間処理システムの開発、特にH2RG検出器を使用する次世代赤外偏光観測装置へ向けたカメラ関連の開発を行う。赤外カメラに使用する機器の調達を2016年度に行ったので、実際の組み立て・試験等を2017年度行う予定である。その他に、回転波長板システムの更なる展開、皆既日食観測へ向けての準備等も予定している。

これらの計画では、当面以下の設備の使用を予定している。

・実験スペース 赤外カメラの組み立てと初期動作試験を行う(実験スペースの確保等詳細は別途相談したく、よろしくお願いします)。

・メカニカルエンジニアリングショップ 実験装置に使用する部品等の機械工作を依頼する。

・オプトショップ 光学部品の検定(SolidSpec3700、Zygo干渉計)等を行う。

・エレキショップ 各種実験装置に用いる電子機器の製作及び特性測定を行う。

⑩ 国立天文台内のプロジェクトとの関連(なければ記入不要)

台内太陽関連プロジェクトでは将来計画のための基礎開発を行っており、本研究課題はその関連において実行するものである。

⑪ 国立天文台内該当プロジェクト長の推薦(なければ記入不要)

⑫ 共同開発研究を希望する場合、研究分担案などを記入してください。